

平成15年度当初予算案

主要事項説明資料

商 工 部

主要事項説明資料目次

商工部

ページ	事業名	担当課
1	中小企業金融対策費	商工振興課
2	地域中小企業活力支援事業費	商工振興課
3	京都ITバザール推進事業費	産業活力支援室
4	西陣SOHO推進事業費	産業活力支援室
5	京都産学公連携機構推進事業費	産業活力支援室
6	産学公連携研究開発資金支援事業費	産業活力支援室
7	ベンチャー投資ファンド制度検討費	産業活力支援室
8	創援隊推進事業費	産業活力支援室
9	京ブランド産品販路開拓支援事業費	観光・商業課
10	海外ビジネス戦略的展開推進費	産業活力支援室
11	東アジアマーケット戦略事業費	産業活力支援室 観光・商業課
12	伝統産業「京の若手職人」海外出展事業費	染織・工芸課
13	丹後産学公連携推進事業費	産業活力支援室 染織・工芸課 織物・機械金属振興センター
14	カニ・キトサン活用新産業創出事業費	産業活力支援室
15	観光8000万人構想推進事業費	観光・商業課 染織・工芸課
16	明日に生きる京の町衆展開催助成費	観光・商業課
17	丹後広域観光推進事業費	観光・商業課

平成15年度当初予算案主要事項説明

商工部

事業名 予算額	中小企業金融対策費												
	47,000,000千円(預託金)	新規・継続の別	継続										
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p style="text-align: center;">平成15年度中小企業金融対策の概要</p> <p style="text-align: center;">融資枠1,000億円(引き続き過去最大規模の融資枠を確保)</p> <p style="text-align: center;">「経営活力資金・創業育成資金」の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デフレの進行等の影響で、設備投資意欲の減退や開業率が低調である中、現行の融資制度をさらに利用しやすい制度へ全面改組し、もって京都経済の活性化を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><経営活力資金の創設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の設備投資関係の資金の金利(年2.2%~2.5%(固定))を、年2.0%(固定)に引き下げ、また、現行融資期間(7年)を、10年にする等、有利で活用しやすい制度を創設。 ・特に、3人以上(現行5人以上の要件を緩和)の新規雇用を伴う設備投資については、年1.5%(固定)の特別金利とし、金利負担のさらなる軽減を図り、雇用の創出を促進。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><創業育成資金の創設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の創業育成関係資金の開業の対象業種(製造業、事業所サービス業に限定等)や、勤務実績等の要件(同一企業に3年以上勤務した者が同じ業種を開業する場合に限定)を撤廃し、創業セミナーや経営指導を受けた者を対象とすることで、幅広い業種の開業、育成を支援する制度を創設。 ・現行資金の金利(年2.0%~2.5%(固定))を、年1.5%(固定)大幅に引き下げ、創業時の金利負担を軽減。 </div> <p style="text-align: center;">中小企業緊急金融対策を平成16年3月末まで延長実施</p> <p style="text-align: center;">平成15年1月27日に創設した中小企業あんしん借換融資については、平成15年6月末まで実施</p> <p style="text-align: center;"><中小企業あんしん借換融資の概要></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対象者</td> <td>中小企業信用保険法第2条第3項各号に該当し、市町村長の認定を受けた中小企業者</td> </tr> <tr> <td>対象資金</td> <td>京都府・京都市制度融資の借換資金 民間金融機関からの信用保証協会の保証(金融安定化特別保証を除く)付融資の借換資金 新規資金</td> </tr> <tr> <td>限度額</td> <td>無担保8千万円(無担保無保証人1,250万円含む)、有担保2億円</td> </tr> <tr> <td>融資利率</td> <td>年1.5%(固定)</td> </tr> <tr> <td>融資期間</td> <td>8年以内(必要に応じ、1年以内の据置可)</td> </tr> </table>			対象者	中小企業信用保険法第2条第3項各号に該当し、市町村長の認定を受けた中小企業者	対象資金	京都府・京都市制度融資の借換資金 民間金融機関からの信用保証協会の保証(金融安定化特別保証を除く)付融資の借換資金 新規資金	限度額	無担保8千万円(無担保無保証人1,250万円含む)、有担保2億円	融資利率	年1.5%(固定)	融資期間	8年以内(必要に応じ、1年以内の据置可)
	対象者	中小企業信用保険法第2条第3項各号に該当し、市町村長の認定を受けた中小企業者											
対象資金	京都府・京都市制度融資の借換資金 民間金融機関からの信用保証協会の保証(金融安定化特別保証を除く)付融資の借換資金 新規資金												
限度額	無担保8千万円(無担保無保証人1,250万円含む)、有担保2億円												
融資利率	年1.5%(固定)												
融資期間	8年以内(必要に応じ、1年以内の据置可)												
前年度当初予算額	47,000,000千円												
担当課・係名	商工振興課・金融係	課・係直通電話番号	075-414-4822										

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	地域中小企業活力支援事業費		
予算額	126,000千円	新規・継続の別	新規(一部継続)
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 厳しい経済情勢の下、中小企業の活力アップ・再生等のため、中小企業への「活力支援」を強力に推進するため、平成12年度から設置している「地域中小企業支援センター」を引き続き設置するとともに、新たに同センターに「中小企業活力支援アドバイザー」を設置する。</p> <p>2 事業内容 (1) 地域中小企業支援センターの設置(継続) 実施主体：府内9箇所の商工会・商工会議所 (センターの事業) ・コーディネーターによる相談指導事業 ・弁護士、公認会計士等専門家相談事業 ・専門家派遣事業 ・人材育成等講習会事業 等</p> <p>(2) 中小企業活力支援アドバイザーの設置[緊急雇用創出特別基金を活用] 創業や、地域の中小企業に対する経営活力の向上に関するアドバイス、国・府の支援施策へのコーディネート等を行うため、府内9箇所の地域中小企業支援センターに「中小企業活力支援アドバイザー」を配置</p>		
前年度当初予算額	—		
担当課・係名	商工振興課 組合係	課・係直通電話番号	075-414-4826

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	京都ITバザール推進事業費		
予算額	219,886 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣旨 「ケータイ産業」を21世紀の京都の地場産業に育成する取組をはじめ、既存の京都企業の発展を図ることはもちろん、IT関連企業の誘致やベンチャー企業の育成も行いながら、学術・文化や産業集積、京都ブランド等の特色を活かし、21世紀型産業の集積エリアをめざす「京都ITバザール構想」の具体化を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p><u>(1)ケータイ国際フォーラム事業費</u></p> <p>内容 ケータイ産業を京都の新たな地場産業として育成するため、最先端情報の受発信やビジネスマッチングを支援するケータイ国際フォーラムを開催。 事業費 20,000千円</p> <p>(2)京都府けいはんなベンチャーセンター運営事業費</p> <p>内容 新産業創出及びベンチャー育成の拠点となる「インキュベート・ルーム」を設置運営する。 事業費 142,000千円</p> <p><u>(3)西陣「IT^{ろうじ}路地」整備事業費 < 新規 ></u></p> <p>内容 NTT西日本京都支店西陣別館事務棟の一部を活用し近接するNPO法人西陣町家スタジオと連携したITベンチャーインキュベート施設を開設し、IT関連のベンチャー企業の立地・育成を図る。 事業費 7,500千円</p> <p>(4)IT活用経営革新・新産業育成等事業費</p> <p>内容 中小企業のITを活用した経営革新支援 ITの活用、京都の資源を活かす新産業育成など 事業費 50,386千円</p>		
前年度当初予算額	201,700千円		
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144852

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	西陣SOHO推進事業費		
予算額	16,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1.目的 空き町家や長い歴史を持つデザインなど西陣の資源を活かした新産業の誘致・育成</p> <p>2.事業内容 (1)西陣SOHO人材育成事業費 伝統産業アーカイブ推進事業 西陣織や映像制作などにかかわる優れたデザイン力や専門知識を備えた人材をブロードバンド用コンテンツの製作プロデューサーとして育成し、伝統・地場産業従事者などの新分野展開や雇用創出に結びつける。 内 容：コンテンツ制作を通じた人材育成 対 象：伝統産業の技術等のデジタル保存を目的としたコンテンツ製作(4本程度) 対 象：西陣関連産業に従事するものでデジタルコンテンツ分野での一定の知識を有する人材(4チーム・延べ20名程度) 事業費：4,500千円</p> <p>デジタル人材育成事業 西陣におけるデジタルコンテンツ分野での創業及びビジネス展開の促進などデジタルSOHOビジネスの集積を促進するため、必要な知識や技術を習得するためのセミナーを行う 内 容：デジタルSOHO向け技術スキルアップ講座等 対 象：デジタルSOHOやITビジネスでの創業を目指す人材(延べ500名程度) 事業費：4,000千円</p> <p>(2)西陣「^{ろうじ}IT路地」整備事業 民間企業の協力も得て、ITビジネスにおける優れた通信環境のバックグラウンドを有するインキュベートルームを整備し、西陣におけるITベンチャーやデジタルSOHOビジネスの事業展開を支援する。 内 容：インキュベートルーム施設整備・運営(20~30㎡×9区画程度) 場 所：上京区油小路通中立売下ル (NTT西日本京都支店西陣別館事務棟1階) 入居対象：ITベンチャー、デジタルSOHO創業者等(公募により審査の上決定) 開設時期：平成15年夏目途 事業費：7,500千円</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144852

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	京都産学公連携機構推進事業費		
予算額	3,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	(趣 旨) 京都産業活性化プランに盛り込まれている産学公連携推進に向けた地域資源の結集を図るため、オール京都による産学公連携基盤の構築、産学公連携事業の企画推進、産学公連携強化のための政策提言、要望活動に取り組む。		
	(京都産学公連携機構の概要)		
	課題・目的	行政や支援機関等の組織を越えた横断的・広域的・効果的な取組の展開 企業化につなげるコーディネート人材の不足への対応 複数企業、複数大学、複数の支援機関等の水平的連携の促進 産学公連携を推進する阻害要因、規制等の除去	
	事業内容	産学公連携・交流事業の推進 ・京都産学公連携フォーラムの開催等 産学公連携情報の基盤づくり ・産学公連携情報データベースの整備、情報発信等 産学公連携コーディネート人材の発掘、育成 産学公連携に関する調査研究・提言・要望活動	
	構成団体	大学(京大,工繊大,立命,同志社,龍谷,京産,大学コンソ等) 研究機関(中セン,織金センター,工業試験場,染織試験場等) 経済団体(会議所,工業会,同友会,中央会,商工会連合会等) 産業支援機関(産業21,ASTEM,関西TLO,けいはんな等) 行政(京都府,京都市)	
	推進体制	代表幹事(知事・市長・京商会頭・京大総長・大学コンソ理事長) 運営会議(代表幹事構成団体・工業会・産業21・ASTEM・KRP・けいはんな・同友会、経営者協会の専務理事クラス)	
	事務局	京都商工会議所内に設置	
	事業費	11,200千円(予定) 府・京都市・京都商工会議所各350万円、 構成団体会費70万円	
発足予定	平成15年2月		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 産学公連携推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144853

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	産学公連携研究開発資金支援事業費		
予算額	100,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1.目的 次代の京都経済の発展を担う新産業創生や新分野開拓の一環として、大学の技術移転や新産業・ベンチャーの育成、中小企業のスキルアップを図る、産学公連携による共同研究開発を促進するため、京都ならではの自由度の高い、中小企業を含む企業や大学のグループへの新たな資金供給の仕組みを構築する。</p> <p>2.事業概要 (1)対象 新京都ブランド分野 (IT、QOL (生活の質の向上を図る産業)、環境、試作産業等)において、事業化・産業化を前提として、産学公連携による共同研究開発を行うグループ (府内中小企業を含むものに限る)</p> <p>(2)事業スキーム 1 グループに対し、1億円を上限に資金支援 (2~3年の複数年支援) 上限 :研究開発経費の2/3以内 研究開発の進捗状況について第三者によるチェックを実施 成果への到達が困難な場合には資金支援を中断</p> <p>(3)事業実施主体 財団法人京都産業21</p> <p>(4)採択要件 (対象事業に求める成果) 共同研究開発の実施後、下記の何れかの成果が確実に見込まれること等 ・ベンチャー企業の創出 ・新会社の設立 (第二創業等を含む) ・新部門の創出 ・知的財産権の取得</p> <p>3.事業費 100,000千円 (平均33,333千円×3グループ (初年度分)) 財団法人京都産業21において資金支援を行うための基金を造成するための補助金</p> <p>4.備考 単年度毎に開発ステージを区分しないなど、開発現場の実態に合わせ、共同研究開発の実効性を高め、事業化・産業化の促進を図る全国でも例のない制度</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144852

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	ベンチャー投資ファンド制度検討費		
予算額	2,000 千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>次代の京都産業を支える企業を育成し、株式上場を目指すベンチャー企業等に対する資金供給の円滑化を図るため、経済界等の意向把握、ファンドを運用するベンチャーキャピタルの責務等について、様々な角度から調査を進め、ベンチャー投資ファンドの制度のあり方について検討する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 経済界等の意向把握 ベンチャー企業に対する資金供給のあり方について、京都の経済界等に対し幅広くヒアリングを実施</p> <p>(2) ファンド運用会社の責務についての検討 ファンドの形態やファンドの運用手法について、金融の専門家などからの意見を聴取しながら、望ましいベンチャーファンド制度のあり方について検討を進める</p> <p>事業実施に際しては、京都産業活性化プラン政策検討会議（ワーキング）での検討を継続するとともに、平成15年2月に発足予定の京都産学公連携機構とも連携しながら検討を進める</p> <p><参 考> ファンド...「中小企業等投資事業有限責任組合契約に関する法律」に基づく投資事業組合を設立し、投資家から集めた資金を一つにまとめ、それをベンチャーキャピタルが投資家に代わってベンチャー企業などの株式や債券に投資し、それによる収益を投資額に応じて投資家に分配する仕組み</p>		
前年度当初予算額			
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144852

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	創援隊推進事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <p>目的 対象 方法等</p>	<p>1.目的 ベンチャー企業等の発展の隘路となっている販路開拓を中心として、民間の活力等を活用し、ベンチャー等の発展をサポートするため、大手企業等とのネットワークをもつ個人や販路開拓等にノウハウを有する団体を応援団としてネットワーク化し、21世紀の京都の発展を担う新たな産業の育成を図る。 創援隊：ボランティアベースで販路開拓を中心にベンチャーを支援する応援団</p> <p>1.事業内容</p> <p>(1)ネットワーク形成事業 趣旨 府の呼びかけ・公募によるベンチャー応援団の結集とPR 内容 全体会議の開催・情報交換、HPの開設、PRパンフレット作成 事業実施主体(事業費) 京都府(1,500千円)</p> <p>(2)出会いの場提供事業 趣旨 大手企業担当者への紹介など販路開拓支援が可能なメンバーと、ベンチャー等の出会いの場の提供 内容 ・ベンチャーと応援団のネットワーク形成会の開催による事業計画のプレゼン・意見交換等(京都・東京・大阪延べ8回程度) ・最優秀事業計画の選定と支援(年1件) 事業実施主体(事業費) 財団法人京都産業21(4,500千円)</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-4144852

平成 15 年度当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	京ブランド産品販路開拓支援事業費										
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 京都府内の歴史・風土に根ざした地域特産品の販路開拓事業を支援し、京都産業の活性化を図る</p> <p>2 内容 (1)「ふるさと再発見・こだわりの府内産品展」開催事業 (8,000千円・新規) 府内各地の特産品の中から人気の高い商品や職人のこだわりの逸品を展示即売し、地場産業の振興や地域活性化を促進する。</p> <table border="1" data-bbox="512 846 1382 1339"> <tr> <td>運営主体</td> <td>同展実行委員会 (京都府商工会連合会・丹後地域地場産業振興センター等で構成)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>京都市内の商店街等、集客力のある場所 (2～3箇所)</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>各1週間程度</td> </tr> <tr> <td>商品構成</td> <td>食品：黒豆や粟を使った菓子や地酒、そば等 工芸品：ちりめんや草木染め製品、和紙等</td> </tr> </table> <p>(2)京ブランド産品販路開拓支援事業補助金(2,000千円・継続) 京都府内の地域特産品製造事業者による展示会・見本市の開催や出展などの積極的な販路開拓事業を支援することにより、京都の地域特産品や土産品等の地場産品の需要拡大を促進し、京都産業の活性化に資する。 事業内容 府外で開催される次の事業 展示会、見本市等への参加・出展事業 展示会、見本市等の自主開催事業 アンテナショップの運営事業 補助率 2分の1</p>			運営主体	同展実行委員会 (京都府商工会連合会・丹後地域地場産業振興センター等で構成)	開催場所	京都市内の商店街等、集客力のある場所 (2～3箇所)	開催期間	各1週間程度	商品構成	食品：黒豆や粟を使った菓子や地酒、そば等 工芸品：ちりめんや草木染め製品、和紙等
	運営主体	同展実行委員会 (京都府商工会連合会・丹後地域地場産業振興センター等で構成)									
	開催場所	京都市内の商店街等、集客力のある場所 (2～3箇所)									
	開催期間	各1週間程度									
	商品構成	食品：黒豆や粟を使った菓子や地酒、そば等 工芸品：ちりめんや草木染め製品、和紙等									
前年度当初予算額	5,000千円										
担当課・係名	観光・商業課 京ブランド推進係	課・係直通電話番号	075-414-4838								

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	海外ビジネス戦略的展開推進費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨 これまで現行の京都府ニューヨーク駐在員事務所（開設：昭和61年9月）に特化していた本府の海外駐在体制を見直し、今後、米国及び北東アジアを中心とした対岸諸国等での効果的・具体的・戦略的な海外拠点展開の再構築を図る。		
	2 概 要		
	拠点	米 国 (西海岸)	中 国 (上 海)
	趣 旨	米国の金融中心地からものづくり・物流コアへの活動拠点のシフト	中国の経済・金融の中心地、アジア経済の次世代ハブでの活動拠点確保
	成果目標	京都企業の対米ビジネスサポート 京都への企業誘致・投資促進 北米航路の誘致開拓 現地経済情報収集等	上海コンテナ航路の誘致開拓 京都企業の対中ビジネスサポート 京都への企業誘致・投資促進 京都への観光客誘致（PR活動） 現地経済情報収集等
	事業費	5,000千円	5,000千円
	形態	成功報酬制度導入 現地有力関係機関への業務委託 拠点活動と連携した誘致活動展開	
前年度当初予算額	—		
担当課・係名	産業活力支援室 貿易振興チーム	課・係直通電話番号	075-4144840

平成15年度当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	東アジアマーケット戦略事業費		
予算額	19,005千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>経済発展の著しい東アジア地域において、京都への観光誘客促進及び府内企業のビジネス展開を支援する事業を実施し、京都産業の振興を図る。</p> <p>1 上海観光プロモーション事業（6,000千円）</p> <p>(1) 趣 旨 平成12年に訪日団体観光旅行が可能になった中国（上海）において観光プロモーション活動を実施し、京都への誘客を促進する。</p> <p>(2) 事業内容 旅行エージェント向け訪日促進セミナー及び商談会の開催 政府観光関係者等に対するトッププロモーションの実施 京都府物産協会と連携して、京都の物産展を上海市内で実施</p> <p>2 海外ビジネス戦略拠点・上海運営事業費（5,000千円）</p> <p>(1) 趣 旨 中国の経済・金融の中心地（上海）にビジネス戦略拠点を確保し、京都企業の海外ビジネス展開を支援する。</p> <p>(2) 事業内容 上海コンテナ航路の誘致開拓 京都企業の中ビジネスサポート 京都への企業誘致・投資促進 等</p> <p>3 韓国・台湾観光セミナー開催等（6,380千円）</p> <p>(1) 趣 旨 滋賀県や関西府県と連携し、韓国等から京都への誘客を促進する。</p> <p>(2) 事業内容 インセンティブツアー誘致セミナーの開催 旅行会社・マスコミの招聘 等</p> <p>4 アジア諸国有力プレス等招請事業（1,625千円）</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 貿易振興チーム 観光・商業課 京ブランド推進係	課・係直通電話番号	075-414-4840 075-414-4838

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	伝統産業「京の若手職人」海外出展事業費			
予算額	6,000千円	新規・継続の別	新規	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	趣 旨	京都の伝統工芸産業に従事する若手職人を公募し、海外で開催される展示会への出展などを通じて、京都の伝統産業界の将来を担う若手事業者の商品企画力や国際的な販売感覚を養う。		
	実施概要	実施方法	財団法人京都伝統工芸産業支援センター（理事長新谷秀一）が実施する事業への助成	
		対 象	年齢が満40歳未満で、府内の伝統的工芸品産業に携わっている職人の中から10名程度	
		選考方法	実施団体、行政等からなる選考委員会で選考する。	
		出展先	北イタリア	
	出展予定展示会	名 称	M I A 展示会 （室内装飾品国際展示会）	
		開催期間	平成15年9月中下旬 （予定）	
		会 場	北イタリア・モンツァ市M I A 展示会場	
		主 催	モンツァ・ブリアンツァ展示会協会	
		備 考	高級品が集まる、高い評価を受けている見本市 < 実績；出展250社、来場55,000名 >	
前年度当初予算額	—			
担当課・係名	染織・工芸課 工芸係	課・係直通電話番号	075-414-4858	

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	丹 後 産 学 公 連 携 推 進 事 業 費		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>低迷する丹後地域の地元産業活性化には、新たな企業の立地、新製品・新商品の開発の推進が必要である。</p> <p>そこで、意欲のある企業を募って、京都工芸繊維大学丹後サテライトが昨年11月に開設されたことを契機として、大学が有する知的財産を活用し事業化に向けて産学公連携の具体的な展開を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>産学公連携による共同研究事業</p> <p>近年、健康・天然志向や環境問題への意識が高まっており、環境にやさしい天然素材を活かした新商品の開発などをテーマとして、京都工芸繊維大学と丹後企業、織物・機械金属振興センターが共同で研究開発に取り組む。</p> <p>大学の研究成果、丹後企業の製品開発、センターの試作開発など、3者がそれぞれの得意分野を活かすため、織物・機械金属振興センターが調整を図りながら新商品の開発、事業化を目指す。</p> <p>テクノブリッジ事業</p> <p>織物・機械金属振興センターが仲介役となって、京都工芸繊維大学が保有する研究成果を企業に提供し、実用化を図る。</p> <p>その中で、具体的な検討課題等を解決するため具体的な研究が必要となった場合、大学、丹後企業、センターなどで共同研究グループを組織し、検討課題の解決や、技術の事業化に向けた具体的な研究等を実施する。</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 産学公連携推進チーム 染織・工芸課 染織係 織物・機械金属振興センター 織物課	課・係直通 電話番号	075-4144849 075-4144856 0772627402

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	カニ・キトサン活用新産業創出事業費		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 次代の京都の発展を担う新京都ブランド分野の産業育成の一環として、丹後地域で大量に焼却処分されているカニ殻を活用し、地域資源を活かした新たな循環型産業を育成する。</p> <p>2 内 容 産学公連携による協議会の設置 京都工芸繊維大学丹後サテライトや地元市町等と連携した産学公による「カニ・キトサン活用新産業創出協議会」の設置</p> <p>回収システムの構築 カニ殻の効率的な分別回収に向けた地元意識の醸成とシステム構築</p> <p>事業導入検討調査 旅館等から排出されるカニ殻を利用して、精製されたキチン・キトサンを活用し、地場産業と融和した形で開発する商品に関する事業性調査等</p> <p>3 実施主体 (財)京都産業21</p> <p>【参考】 キトサン・・・健康食品や人工皮膚等に利用されている他、免疫活性や抗菌、アトピー予防などの効果があり、シックハウス症候群予防の接着剤や農業用利用等としても利用出来る等、幅広い用途がある。</p>		
前年度当初予算額	-		
担当課・係名	産業活力支援室 新産業推進チーム	課・係直通電話番号	075-414-4852

平成 15 年度当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	観光 8000 万人構想推進事業費		
予算額	100,900 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 新しい成長産業である観光振興のため、新京都府総合計画において掲げた、年間観光入込客 8000 万人の目標達成のため、平成 13 年度から始めた 8000 万人構想推進事業の一層の充実・促進を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 観光お国自慢推進事業 24,000 千円 (2) バリアフリー観光空間整備事業 26,000 千円 (3) 広域観光推進プロジェクト事業 3,000 千円 (4) 京都ファン誘客プロジェクト推進事業 3,000 千円 (5) 京都・花灯路推進事業費 20,000 千円 (以下、新規事業)</p> <p>(6) 「新選組」観光振興事業 3,000 千円 大河ドラマの放映機会を活用し、全国の新選組ゆかりの都市と連携して、企画展の実施やパンフレット発行等を行う。</p> <p>(7) 上海観光プロモーション事業 6,000 千円 中国(上海)で観光セミナーの開催や関係者へのトップセールス、物産展の開催等を行い、京都への誘客を促進する。</p> <p>(8) 「私のしごと館」活用南部観光振興事業 3,000 千円 私のしごと館を中心に、観光モデルコースの開発や PR 素材の作成、旅行社の招聘等を行い、府南部地域の観光振興を図る。</p> <p>(9) 「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業 7,900 千円 「京都きものパスポート」事業の特典内容の充実や、きものウェルカムウィーク事業等観光と連携した和装需要の拡大を図る。</p> <p>(10) 「京の伝統産業」体験観光推進事業 5,000 千円 伝統産業体験可能施設をネットワーク化し、観光客等への積極的な情報提供を行うなど、伝統産業と観光の振興を図る。</p> <p>(参考) 京都縦貫自動車道北部延伸に対する取組(丹後広域観光推進事業) 大阪や神戸での観光キャラバンにおいて、北部延伸による時間短縮効果を重点的に PR し、丹後観光の一層の振興を図る。</p>		
前年度当初予算額	50,000 千円		
担当課・係名	観光・商業課 観光係 京ブランド係 染織・工芸課 染織係 工芸係	課・係直通 電話番号	075-414-4838 075-414-4858

平成 1 5 年度当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	明日に生きる京の町衆展開催助成費										
予算額	4,000千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>(社)京都府物産協会(会長 大角正幸)が実施する創立40周年記念事業(「明日に生きる京の町衆展～水と京都～」等)を支援し、物産業界の振興・発展を図る。</p> <p>2 記念事業の内容</p> <p>(1)「明日に生きる京の町衆展～水と京都～」の開催</p> <table border="1"> <tr> <td>会 期</td> <td>平成15年5月29日(木)～6月3日(火)(6日間)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>大丸京都店6・7階</td> </tr> <tr> <td>主 催</td> <td>(社)京都府物産協会</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td> 水に因んだ、京都の町衆の生活文化を紹介する展示会 <ul style="list-style-type: none"> ・水に因んだ京都の名産品の展示即売 ・道具類、秘蔵品等の展示 ・工芸製作実演 ・体験コーナー等 </td> </tr> </table> <p>(2)創立40周年記念式典の開催</p> <p>(3)創立40周年記念座談会</p> <p>(4)創立40周年記念誌の制作</p> <p>(5)創立40周年記念新商品コンクールの開催</p>			会 期	平成15年5月29日(木)～6月3日(火)(6日間)	会 場	大丸京都店6・7階	主 催	(社)京都府物産協会	内 容	水に因んだ、京都の町衆の生活文化を紹介する展示会 <ul style="list-style-type: none"> ・水に因んだ京都の名産品の展示即売 ・道具類、秘蔵品等の展示 ・工芸製作実演 ・体験コーナー等
会 期	平成15年5月29日(木)～6月3日(火)(6日間)										
会 場	大丸京都店6・7階										
主 催	(社)京都府物産協会										
内 容	水に因んだ、京都の町衆の生活文化を紹介する展示会 <ul style="list-style-type: none"> ・水に因んだ京都の名産品の展示即売 ・道具類、秘蔵品等の展示 ・工芸製作実演 ・体験コーナー等 										
前年度当初予算額											
担当課・係名	観光・商業課 京ブランド推進係	課・係直通電話番号	075-414-4838								

平成15年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	丹後広域観光推進事業費		
予算額	32,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>JR及び北近畿タンゴ鉄道の電化・高速化、京都縦貫自動車道の延伸等の交通網整備を契機に丹後地域の自然、文化、歴史、温泉、産業等を幅広く情報発信することにより、丹後の知名度を高めるとともに、継続的な誘客や四季型・滞在型観光地としての地位の確立を図る。</p> <p>このため、丹後広域観光キャンペーン協議会の活動支援を通して、丹後地域への一層の誘客推進を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 事業主体</p> <p>丹後広域観光キャンペーン協議会</p> <p>構成：京都府、丹後2市11町、民間関係団体等 総計104団体 (事務局：京都府・(社)京都府観光連盟)</p> <p>(2) 主な事業</p> <p>京都縦貫自動車道綾部宮津道路開通記念観光キャンペーン事業</p> <p>宮津道路の開通等による時間短縮効果を重点的にPRするため、京阪神を中心とした繁華街等における観光キャラバンを実施。</p> <p>新規顧客開拓中京圏戦略事業</p> <p>新規顧客開拓のため、「丹後」の知名度アップと誘客促進を図るため、中京圏をターゲットにした情報誌、TV等を利用した情報発信やモニターツアーを実施。</p> <p>「丹後観光」再発見事業</p> <p>歴史セミナーとタイアップした新たなツアーの開発など、丹後地域の持つポテンシャルを再確認し、これを活かした観光施策を促進。</p>		
前年度当初予算額	32,000千円		
担当課・係名	観光・商業課 観光係	課・係直通電話番号	075-414-4837